受付番号

　20　　 年 　　 月 　　 日

 倫理審査申請書

|  |  |
| --- | --- |
| 研究タイトル |  |
| 申 請 者 | （所属）　（職名/学年）　（氏名） |
| 実施責任者 | （所属）　　　　　　　　　　　　　（職名）　　　　　　　　　　　　　　　（氏名）　申請者と同じ場合は同上 |
| 研究指導者 | （所属）　　　　　　　　　　　　　（職名）　　　　　　　　　　　　　　　（氏名） |
| 共同研究者 | （所属）　　　　　　　　　　　　　（職名）　　　　　　　　　　　　　　　（氏名）（所属）　　　　　　　　　　　　　（職名）　　　　　　　　　　　　　　　（氏名）（所属）　　　　　　　　　　　　　（職名）　　　　　　　　　　　　　　　（氏名）（所属）　　　　　　　　　　　　　（職名）　　　　　　　　　　　　　　　（氏名） |
| 研究期間 | 　　　　　年　　　　　月　　　　　日 から 　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |
| 調査期間 | 　　　　　年　　　　　月　　　　　日 から 　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |
| 提出書類※本様式とともに提出するPDFに通し番号を付与し、照合確認ができるようにしてください※照合確認が済むと申請受付となります | 番号 | 提出書類名 |
|  | 倫理審査申請書（本様式） |
|  | eL CoRE修了証明書（新規申請のみ） |
|  | 研究説明書〔研究参加者〕 |
|  | 研究参加への同意書 |
|  | 研究参加への同意撤回書 |
|  | 研究説明書〔研究協力者〕 |
|  | 研究協力への同意書 |
|  | 研究協力への同意撤回書 |
| その他の資料（資料にも番号を付与し以下に記載） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

|  |
| --- |
| 1. 研究概要

**10行程度で簡潔に述べ、倫理審査委員が本研究の概要を理解できるよう、専門用語の使用には注意する。尚、指示文（太字）はすべて消さずに作成すること。*** + - 研究概要を示した図などがあれば、その他の資料として作成し、番号を付与し添付する
 |
|  |
| 1. 研究目的・意義

**先行文献を引用する場合は、「５．引用文献」に記載すること。尚、太字の指示文はすべて消さずに作成すること。** |
| **2-1. 研究の背景や問題の所在****2-2. 先行研究の概要****2-3. 本研究の実施目的とその意義** |
| 1. 研究計画

**該当しない場合は「非該当」と記載し、先行文献を文中に引用する場合は、「５．引用文献」に記載すること。尚、指示文（太字）はすべて消さずに作成すること。** |
| **3-1. 調査対象者** |
| **3-1-1．研究者とどのような関係性の誰を調査対象者とし、何人くらい参加するのか****3-1-2．調査対象者の選出基準は何か****3-1-3．調査対象者のリクルート方法（誰が、どのように、何を使用して研究参加を依頼するのか）*** + - 調査参加の依頼に使用するメールや手紙などによる依頼文や電話など口頭で説明する内容を示した原稿があれば、1ページ目の「その他の資料」に記載し添付する
		- 調査対象者のリクルートに至る手続きを示した表や図があれば、同じく「その他の資料」に記載し添付する
 |
| **3-2. 調査方法及び手続き** |
| **3-2-1．どのような調査方法を用いるのか*** + - 例）量的調査の質問紙法であれば個別面接調査法、郵送調査法、留置調査法、電話調査法、託送調査法、集合調査法、インターネット調査法など
		- 例）質的調査であれば観察法、個別面接法（構造化、半構造化、非構造化）、集団面接法（構造化、半構造化、非構造化）、質問紙法（自由記述式）、文書・記録（本、雑誌、行政文書、日記、手紙、写真、統計、絵画、音楽）など

**3-2-2．研究協力者（調査実施に協力してくれる団体・機関・施設・個人など）は誰か、またそれぞれの役割は何か****3-2-3．調査は誰が、どのように実施するのか（調査手順の詳細）*** + - 量的調査の場合、質問紙の配布方法から回収方法までの手続きを説明する
		- 質的調査の場合、録画・録音、観察の開始方法から終了方法までの手続きを説明する
		- 調査実施の際に発言する内容を示した原稿などがあればその他の資料として提出する

**3-2-4．調査実施の時期、時間、回数、場所** |
| * 1. **データの取り扱い**
 |
| **3-3-1. どのようなデータを収集するのか*** + - 量的データの場合、質問項目や尺度とそれらの回答方法を簡潔に説明する（使用する質問項目の丸写しは不可）
		- 量的データの収集に使用する質問票や督促状は、その他の資料として提出する
		- 質的データの場合、録音・録画、観察の内容を簡潔に説明する
		- 質的データの収集に用いるインタビューガイドや観察シートなどは、その他の資料として提出する

**3-3-2. 収集したデータの管理方法及びデータにアクセスできる者はだれか****3-3-3. 収集したデータの処理及び保管期間****3-3-4. 複数の時期・場所・人物からデータ収集される場合、誰がそれぞれのデータ管理に責任を持つのか****3-3-5. どのようなデータ分析方法を用いるのか** |
| 1. 研究における倫理的・社会的配慮について

**該当しない場合は「非該当」と記載し、先行文献を引用する場合は、「５．引用文献」に記載すること。尚、太字の指示文はすべて消さずに作成すること。** |
| * 1. **調査対象者の人権に対する配慮について**
 |
| * + 1. **調査対象者の自由参加の権利の保障、匿名性の確約、プライバシーの保護、守秘義務といった倫理的・社会的配慮はそれぞれどのようになされるのか（非該当の場合は、その理由を説明する）**
		2. **調査対象者が社会的弱者（例：幼児・児童・生徒など未成年者、障害者、患者、高齢者、犯罪被害者、在住外国人など）の場合、その調査対象者を選出する正当な理由は何か**
		3. **調査対象者への研究の説明及び研究参加への同意書の入手は、誰が、いつ、どこで、どのように実施するのか**
		4. **調査実施に協力してくれる機関・施設の責任者、あるいは関係者への研究の説明及び研究協力への同意書の入手は、誰が、いつ、どこで、どのように実施するのか**
		5. **入手した研究参加への同意書・同意撤回書、研究協力への同意書・同意撤回書などは、誰が、どれくらいの期間、どこに、どのように保管するのか**
		- 実施責任者が本研究科在籍の場合は、研究資料等の保存・管理に関する規定に従い、臨床教育学研究科内の特定保管場所において10年間保管される。
 |
| * 1. **調査対象者への不利益ならびに危険性に対する配慮について**
 |
| * + 1. **研究参加により調査対象者に生じる不利益や危険性**
		2. **研究参加により調査対象者に生じる不利益や危険性への対応策**
		3. **研究発表や成果物（論文）における注意点**
		4. **この研究を実施することによる専門分野ならびに社会への貢献度**
 |
| * 1. **その他**
 |
| * + 1. **研究参加への同意書を取得した後の手続き**
		- 下記以外の手続きを用いる場合、説明する

実施責任者は受け取った研究参加への同意書及び同意撤回書を研究指導者（〇〇）に提示し、受け取ったことの相互確認をする。* + 1. **その他、本研究を実施するにあたり、これまでに説明していない留意点など**
		- 例えば、研究者が研究参加者の所属する機関の長であるならば、利益相反に該当する可能性があるため、その対処について説明する
 |
| 1. 引用文献

**本申請書に用いた文献を、アルファベット順にすべて記載すること。** |  |
|  |